

取扱説明書

型番:TA2C-DR9/TA2C-DR94G

このたびは当社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。別冊「使用上のご注意・サポートガイド」と本書をよくお読みのうえご利用ください。また、保証書裏面の「保証規定」をよくお読みください。

重要保管

本書は必要なときすぐにご覧になれるようお手元に保管してください。

本書で使用しているマークについて

 警告 死亡または重傷を負う可能性がある内容です。	 注意 軽傷を負うことや財産への損害が生じる可能性がある内容です。
 操作の際注意するポイントです。	 補足説明や知っておくと便利なポイントです。

防水/防じん性能について

●本体部は、防滴(防滴2形、IPX2相当)性能、IP5X相当の防じん性能を有しています。

端子カバーを閉じた状態の本体部が、IEC60529準拠IPX2等級(鉛直から15度の範囲で落ちてくる水滴による有害な影響がない)と、IEC60529準拠IP5X等級(正常動作および安全を損なうほどの量の粉じんが内部侵入しない)に適合しています。同梱のACアダプターは防滴/防じん性能を有しておりません。

防滴/防じんの耐性は永続的ではなく、通常使用による摩耗、修理、分解、損傷によって低下する可能性があります。端子カバーを含む本体に傷、割れ、破損などがある場合は修理のご依頼をおすすめいたします。端子カバーは消耗品です。

 **注意** ぬれたままの使用はできません。本機に付着した水は速やかに拭き取り、乾かしてからご使用ください(変形の原因になりますのでドライヤーは使わないでください)。油・調味料・石鹸・洗剤・入浴剤・プール水・海水・温泉水・汗など、真水(5℃～35℃)以外の液体が付着したときは、電源をOFFにしてACアダプターを抜き、端子カバーを閉じた状態で付着箇所を真水で湿らせ、固く絞った布などで拭き取り、乾かしてからご使用ください。

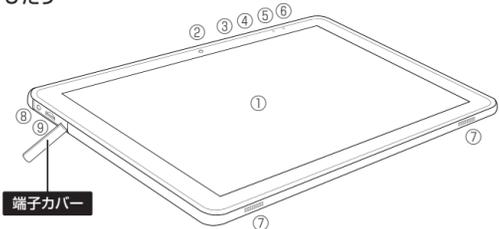
 **注意** 本体またはACアダプターがぬれているときは絶対に充電をおこなわないでください。感電や、部品の腐食・劣化または内部ショートによる発煙、故障、機能低下の原因になります。

1. セット内容

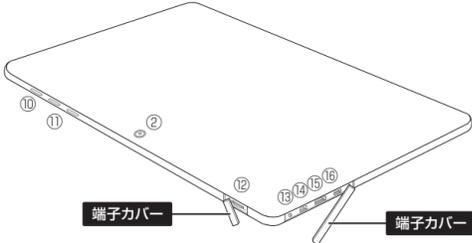
- 本体
- ACアダプター
- 使用上のご注意・サポートガイド
- 保証書
- 取扱説明書(本書)

2. 各部の名称と機能

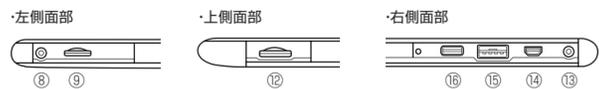
おもて/ひだり



うら/みぎ



端子カバー内の外部接続端子(端子カバーを爪先で開けて使用してください)



名称	補足説明
①ディスプレイ(画面)	表面に10点マルチタッチパネルを装備しています
②Webカメラ(内側/外側)	静止画や動画が撮影できるカメラレンズです
③内蔵モノラルマイク	小さな穴の内部にモノラルマイクを内蔵しています
④照度センサー	周囲の明るさを検知します
⑤電源ランプ	消灯/点灯/点滅によって以下の動作状態を表します 緑色点灯：電源ON状態です 緑色点滅(グラデーション)：スリープ状態です 消灯(黒色)：電源OFF状態です
⑥充電ランプ	消灯/点灯/点滅によって以下の動作状態を表します 赤色点灯：内蔵バッテリーを補充電中です 緑色点灯：満充電の状態です 消灯(黒色)：非充電の状態です
⑦ステレオスピーカー	横向き使用の際にスピーカーレイアウトが左/右配置となります
⑧ヘッドホン兼ヘッドセット端子	ヘッドセットの規格は「CTIA」です(単体マイクは使用できません)
⑨SIMカードスロット(TA2C-DR94Gのみ)	ナノSIMカードに対応しています
⑩電源スイッチ	本機の電源をON/OFFにするスイッチです
⑪音量ボタン	+を押すと音量が上がり、-を押すと音量が下がります
⑫メモリーカードスロット	microSD/microSDHCカードに対応しています
⑬電源入力端子(DC IN)	付属のACアダプターのDCプラグを接続して充電します
⑭microHDMI出力端子	ご利用の際は市販のmicroHDMIケーブル(別売)をご用意ください
⑮USB2.0ポート(Type-A)	USBメモリーや外部キーボードなどUSB機器を接続します
⑯USB2.0ポート(Type-C)	

⑮⑯のUSBポートについて

1.⑮⑯のUSBポートは、おもにUSBメモリーなどの外部USB機器へ本機から給電をおこないながら使用する用途のポートです。故障の原因になりますので、外部バッテリーやDC電源など本機へ給電する装置は接続しないでください。USBハブなどを介する場合も、USBハブのUSBポートに本機へ給電するような装置を接続しないでください。

2.ACアダプターから本機へ供給される電力は最大15W未満です。システムの動作負荷状況にもよりますが、接続している外部USB機器の消費電力がたとえUSB2.0規格内であっても、システムが必要とする消費電力の総和が過大な場合は、ACアダプター接続中にもかかわらず内蔵バッテリーからも電力補助がおこなわれバッテリー残量の減少が進行したり、システム動作速度が緩慢になるなどの障害が起きる場合があります。この場合は、セルフパワー型USBハブを介して外部USB機器を接続してください。

3. はじめて電源をONにする前に

3-1. インターネット環境の準備

はじめてインターネットをおこなう方は、あらかじめインターネットプロバイダーと契約し、インターネット回線を開通させたうえで、無線LAN親機(無線LANルーターなどとも呼ばれます)など、本機との接続に必要な機器をご用意ください。

2.4GHz帯 無線LAN	5GHz帯 無線LAN
IEEE802.11b/g/n	IEEE802.11a/n/ac

無線LAN親機を使用するときは、その取扱説明書を参照して以下をメモしておきましょう。

・ネットワーク名(SSID) 無線LAN親機などアクセスポイント固有の名前で

・ネットワークセキュリティキー (セキュリティキー、暗号化キー、WPA2キー、WEPキーなど)

(無線LANの設定方法は [⑮ 4-6-1. 無線LAN(Wi-Fi)の接続設定] で説明します。)

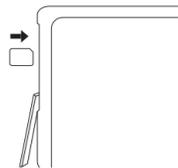
 本機の時計機能は、無線LANに接続すればネットワークから提供される日時情報を利用して、自動的に日時合わせされるようになっていきます(出荷時設定)。手動で日時合わせすることも可能です。[⑮ 5-1. 各種詳細設定の変更方法]

3-1-1. SIMカードを使用する場合(TA2C-DR94Gのみ)

●SIMカードをセットする

本機はナノSIMカードに対応しています。SIMカードは本機の電源を切った状態で左側面の端子カバーを開けて図の向きに固定されるまで押し込んでください。

 **注意** SIMカードを抜く際は本機の電源を切った状態で固定が解除されるまで押し込んでください。



●アクセスポイント設定

データ通信をおこなう際はSIMカードに対応したアクセスポイント設定が必要です。通信事業者によっては自動で設定されますが、自動で設定されない場合は手動で情報を入力する必要があります。

- ① アプリ画面から「設定」をタップします
- ② 「ネットワークとインターネット」をタップします
- ③ 「モバイルネットワーク」をタップします
(SIMカードが認識されていない場合、選択できません)
- ④ 「詳細設定」をタップします
- ⑤ 画面下方の「アクセスポイント名」をタップします
- ⑥ 契約した通信事業者が自動選択されているかを確認します
- ⑦ 自動で選択されていない場合はリストから選択するか、リストに無い場合は画面右上の「+」をタップすると、「アクセスポイントの編集」画面が表示されますので、この画面で必要な項目を編集してください。

 「+」をタップ



 入力に必要な情報は通信事業者によって異なります。詳しくはご契約の通信事業者にお問合せください。

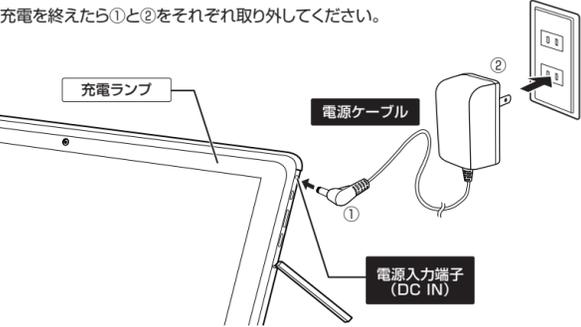
3-2. ACアダプターの接続方法と内蔵バッテリーの充電方法

- ① 本機の電源入力端子(DC IN)にACアダプターのDCプラグを挿しこみます。
- ② ACアダプターを電源コンセントに接続します。(本機の充電ランプが点灯します。)
 →電源OFFの状態では、給電を開始すると画面にバッテリーのアイコンが表示され、続いて充電残量(%)が表示されたあと画面が消灯します。(充電中に電源スイッチを短押しすると充電量(%)の確認ができます。)
 →充電が開始されると、本機の「充電ランプ」が赤色点灯に変わります。満充電になったら充電ランプは緑色点灯します。充電を開始した時点ですでに満充電の場合は、充電ランプは赤色点灯にならないが、赤色点灯してもすぐに緑色へ変わります。

 電源をONにするには一定以上の充電残量が必要ですので、はじめてお使いになるときや、充電残量が少なくなるときおよび充電残量が0%のときは、30分以上充電をおこなってください。

 充電残量が0%になった以降長期間使用されなかった場合は、充電時間が通常時よりも大幅に長くなる場合があります。

- ③ 充電を終えたら①と②をそれぞれ取り外してください。



 **注意** ACアダプターのDCプラグは右側面の電源入力端子(DC IN)へ、確実に押し込んでください。DCプラグを誤って左側のヘッドホン兼ヘッドセット端子のほうに挿入した場合、故障の原因にはなりません。目的の給電(充電)状態になりませんのでご注意ください。

 **注意** 発熱や故障、もしくは本機の性能低下の原因になりますので、本機への給電は、必ず付属のACアダプターを使用して、電源入力端子(DC IN)からおこなってください。電源ケーブルの延長はおこなわないでください。(上の図で指定する以外の接続はしないでください。)
Type-A、Type-C USBポートからは本機の充電をおこなうことはできませんので、外部バッテリーやDC電源など本機へ給電する装置を接続しないでください。

 **注意** バッテリー残量がなくなると使用中でも電源がOFFになります。低残量を知らせるメッセージが出たら、使用しているアプリのデータをすぐに保存のうえ充電してください。

 本機に内蔵しているリチウムイオンポリマーバッテリーは、いつでも縦置き充電をおこなうことができます。リチウムイオンバッテリーの特性などについては [⑮ 別冊 使用上の注意・サポートガイド] で詳しく説明しています。

 市販の一部タッチペンで本機の操作ができない場合がありますが、本機の故障ではありません。

4. 本機を使い始める

4-1. 本機の電源をONにする

本機上部の電源スイッチを押します。

はじめて電源をONにするとき、および前回「電源を切る」で終了したとき

1秒以上長押しして指を離す

前回「画面消灯」にしたとき

「カチッ」と短押し



4-2. Androidの初期設定(「セットアップ」ともいいます)

- ① はじめて電源をONすると自動的に右の画面が表示されます。「開始」をタップします。

 **注意** TA2C-DR94Gのみ SIMカードが挿入されていない場合は、次に「モバイルネットワークへの接続」が表示されます。SIMカードをお持ちで、まだ接続していない場合は接続します。後でSIMカードを接続する場合は「スキップ」をタップします。



- ② 「Wi-Fiに接続」 周辺のアクセスポイントが表示されます。接続するアクセスポイント名をタップし、接続操作をおこないます。

- ③ 「アップデートを確認中」 そのまま数秒～1分弱待ちます。

- ④ 「アプリとデータのコピー」 バックアップデータがある場合、データの引継ぎができます。本書では「コピーしない」をタップして次に進みます。

- ⑤ 「ログイン」 Googleアカウントをお持ちの場合は、ここでログインができます。本書では「スキップ」を選択し、次に進みます。

- ⑥ 「Googleサービス」 「もつと見る」を2回タップし、「同意する」をタップします。

- ⑦ 「画面ロックの設定」 起動時のPINコードを設定します。必要に応じてPINコードの設定をおこないます。注:スキップした場合でも後で設定可能です。

Androidの初期設定はこれで完了です。

4-3. 本機の電源をOFFにする

以下の2通りの方法があります。

●完全に電源をOFFにする

- ① 電源スイッチを1秒押します。画面右側に右のダイアログボックスが表示されます。
- ② 電源スイッチから指を離し、「電源を切る」をタップします シャットダウンが始まり、本機の電源が完全にOFFになります。(本機を再起動させる場合は [④ 再起動] をタップします。)



 完全に電源をOFFにした直後に再度電源をONにするときは、バックグラウンドのシステム終了処理が終わり、電源ランプが緑色点灯から黒色(消灯)に変わったことを確認してから操作してください。電源スイッチを2秒以上長押ししても画面にAndroidロゴが表示されないときは、あらためて30秒程度待ってから電源スイッチを1秒以上長押ししてください。

 **注意** 本機をすぐに使用しないときは完全に電源をOFFにしてください。1日一回など定期的に電源をOFFにするか再起動をおこなうことで、本機の記憶装置に不用データ(garbage)が蓄積されることを防止することができます。不用データの蓄積が長期間続いた場合、本機のパフォーマンス低下や突然の電源OFFなどの原因になる場合があります。本機は24時間連続稼働を前提とした設計になっておりません。

【本機の強制再起動方法】
本機の画面がフリーズする(固まる)などしたときは、次の方法で本機を強制再起動してください。→「電源スイッチを11秒以上長押し」
 強制再起動の操作は、データ破損など故障の原因になることがあります。やむを得ない場合以外は、強制再起動の操作となる「電源スイッチの11秒間長押し」をおこなわないでください。電源をONまたはOFFにする操作中でも、電源スイッチから指を離さず11秒間長押しを続けた場合は強制再起動の動作に移行します。

●画面消灯する

電源スイッチをカチッと短押しします。→画面が消灯しスリープ状態になり、電源ランプは緑色点滅(グラデーション)します。(充電中は画面は消灯しますが、充電処理のためスリープ状態にはならず、電源ランプは緑色点灯します。)

 もう一度電源スイッチをカチッと短押しすればすぐに起動状態に復帰できるため、操作を一時的に中断する場合などに適しています。スリープ状態でもCPU(中央演算装置)などはアイドル状態を維持しますので、待機電力を消費します。

(⇒ 表面からのつづきです)

4-4.「ホーム画面」の基本操作方法

【ホーム画面】



①

①ステータスバー
画面上部にあり、無線LANの接続状況、時刻、バッテリーの状態などを表示します。

②◀バックボタン
現在表示中の画面の、ひとつ前の画面やページに戻ることができるボタンです。

③●ホームボタン
どんな操作をしているときでも、このボタンをタップすると「ホーム画面」に戻ります。

【アプリ画面】



④◻履歴ボタン
アプリや設定などの利用履歴を画面表示するボタンです。
履歴画面に表示されたアプリ等をタップするとアプリの切り替えも直接おこなえます。

「ホーム画面」で下から上にスワイプすると「アプリ画面」が表示されます。

(②の◀バックボタンを押すとホーム画面に戻ります。)

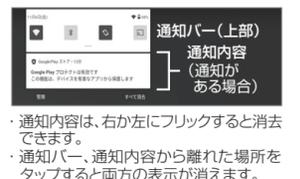
4-5.「通知バー」と「クイック設定画面」について

●本機からの通知を表示する「通知バー」は、以下の手順で表示できます。

①ホーム画面上部の画面の外枠に触れ、画面の内側にスワイプします。



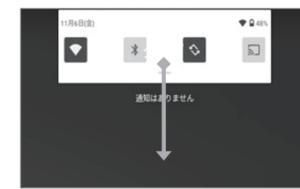
②画面上部に通知バー(上部のバー)と通知内容(通知がある場合)



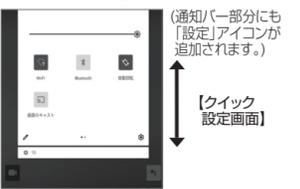
・通知内容は、右か左にフリックすると消去できます。
・通知バー、通知内容から離れた場所をタップすると両方の表示が消えます。

●使用頻度が高い設定項目は、「クイック設定画面」から設定できます。

①表示した通知バーに触れ、下向きにスワイプします。



②通知バーの下側にクイック設定画面が表示されました。(通知バー部分にも設定アイコンが追加されます。)



●クイック設定画面に表示されているアイコンのタップから以下の設定がおこなえます。

	無線LANの接続設定(Wi-Fi)		Bluetoothの接続設定(Bluetooth)
	画面の自動回転/固定の切替		モバイルデータ通信設定(TA2C-DR94Gのみ)
	画面のキャスト(Miracastワイヤレスディスプレイ機能の接続設定)		画面の照度調整
	「設定」アイコン(詳細設定の入口)		「設定」アイコン(詳細設定の入口)

4-6.クイック設定画面【☞4-5(前項)】からの設定方法

クイック設定画面からの設定方法の例として「無線LANの接続設定(Wi-Fi)」、「Bluetoothの接続設定」、「キャスト(Miracast機能)」を説明します。

4-6-1.無線LAN(Wi-Fi)の接続設定

(本機でインターネットをおこなうために必要な設定です。)

①インターネット環境をご準備のうえ無線LAN親機(別売)を用意します。
【☞3-1.インターネット環境の準備】あらかじめ無線LAN親機の設定をおこなってから開始してください。無線LAN親機側の設定方法は、無線LAN親機の取扱説明書を参照してください。

②4-5.の手順でクイック設定画面を表示させます。



③ Wi-Fiアイコンを長押しします。



④画面が切り替わります。「Wi-Fiの使用」がOFFの場合は、ONに変更してください。周囲の電波状況が一覧表示されます。



(電波状況の一覧表示には少し時間がかかる場合があります。)

アプリ画面→「設定」アイコン→「ネットワークとインターネット」にあるWi-Fiの設定画面へ、自動的に移動しています。

⑤周囲の電波状況表示の中から、ご利用になるアクセスポイントのネットワーク名(SSID)を選びタップします。



(ネットワークセキュリティキーは)1)アクセスポイントにつき初回接続時のみ入力すれば本機に記憶されます。

⑦接続されたネットワーク名の下に「接続済み」と表示されます。

これで無線LANの接続設定は完了です。



クイック設定画面で接続状態の確認がおこなえます。
→4-5.の手順でクイック設定画面を表示します。
接続中はWi-Fiアイコンが点灯し、接続中のネットワーク名が表示されます。



4-6-2.Bluetoothの接続設定 (必要がある場合におこなってください。)

①Bluetoothの接続設定はペアリングとも呼ばれます。接続するBluetooth機器(例)の取扱説明書を参照のうえ、Bluetooth機器側の電源スイッチをONにしてペアリングボタンを押しなど、ペアリング可能状態にしてください。
[本機のBluetooth通信範囲:見通し距離約10m]

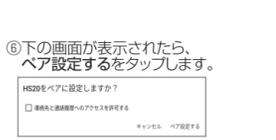
②4-5.の手順でクイック設定画面を表示させます。

③ Bluetoothのアイコンを長押しします。



*使用可能なデバイス(Bluetooth機器名)の表示までに、少し時間がかかる場合があります。数分待っても機器名が表示されない場合は、Bluetooth機器側のペアリング手順をやり直したうえで、4-5.の手順でクイック設定画面を表示させ、Bluetoothのアイコンをタップして機能をOFFにした後、再び③からの手順をおこなってください。

⑤接続するBluetooth機器名が表示されたら機器名をタップします。



この前後にパスワード等の入力をお求められたら、接続するBluetooth機器側の取扱説明書を参照のうえ入力してください。

⑦ペアリングが完了すると、利用可能なメディアデバイスに表示されます。



これでBluetoothの設定は完了です。

ペアリング情報は1デバイスにつき初回のみおこなえば本機に記憶されます。

⑧●ホームボタンをタップしてホーム画面に戻ります。

クイック設定画面で接続状態の確認がおこなえます。



Bluetooth機器を使わないときは、バッテリー消費の節約および他の通信機器との干渉を防ぐため、本機のBluetooth機能をOFFにしておきましょう。

4-6-3.キャスト(Miracastワイヤレスディスプレイ機能)の接続設定

(必要がある場合におこなってください。)

①キャストとはMiracast機能によって本機の画面をテレビ等の外部ディスプレイにワイヤレスで表示することです。Miracastレシーバー(別売)をお手持ちのディスプレイに接続し、あらかじめ接続待ち状態にしてください。Miracastレシーバーの手順はレシーバーの取扱説明書を参照してください。

②4-5.の手順でクイック設定画面を表示させます。



③画面のキャストのアイコンをタップします。



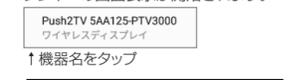
④下の画面が表示されたら、設定をタップします。



⑥画面が切り替わります。右上の をタップすると表示される「ワイヤレスディスプレイの有効化」をタップして有効にします。



⑥表示されたMiracastレシーバー名をタップすると、接続が開始され外部ディスプレイへの画面表示が開始されます。



↑機器名をタップ
これでキャストの接続設定は完了です。
ペアリング情報は本機に記憶されます。

アプリ画面→「設定」アイコン→「接続済みのデバイス」→「接続の設定」にあるキャストの設定画面へ、自動的に移動しています。

⑦●ホームボタンをタップしてホーム画面に戻ります。

5.各種設定

5-1.各種詳細設定の変更方法

アプリ画面「設定」アイコンのタップで詳細設定画面が表示されます。



以下は詳細設定の一例です
ディスプレイの明るさを自動調節にする→「ディスプレイ」→「明るさの自動調節」→…
表示文字のサイズの変更→「ディスプレイ」→「詳細設定」→「フォントサイズ」→…
通知音を「あり」にする(出荷時設定:なし)→「音」→デフォルトの通知音→…
アプリのアンインストール→「アプリと通知」→「アプリ情報」→対象アイコンをタップ→…
手動日時合わせ→「システム」→「日付と時刻」→ネットワークの時刻を使用するをOFF
→Set date, Set time→…

本機の初期化をおこなうときは、設定→「システム」→「詳細設定」→「リセットオプション」→「すべてのデータを消去」の手順でおこないます。初期化(初期状態にリセット)とは、システムが手作業で修復できない状態になったときや、システムの不具合の原因が特定できない場合などやむを得ないときに、本機の復旧を目的として本機内の各種設定や記憶媒体をすべて消去し、工場出荷時状態に戻す手段のことです。

6.本機の仕様について

■製品仕様書などについて

製品仕様書およびその他の情報は次のWebサイトからご参照ください。

<https://ods.co.jp/support/pcsupport/productinfo.html>

■有寿命部品、消耗品について

有寿命部品	ACアダプター、記憶媒体(e-MMC)、液晶パネル、タッチパネル
消耗品	バッテリーパック、端子カバー

本機には有寿命部品や消耗品が含まれています。有寿命部品の交換時期はご使用になる頻度や条件により異なります。消耗品は性能・機能維持のため適時交換が必要です。有寿命部品や消耗品の部品交換は、保証期間内・外にかかわらず有料です。

■バッテリーサイクルについて

【フル充電1000サイクル】経過時点の満充電時の駆動時間は、初期性能の[80%]以上です

内蔵バッテリーパックは消耗品です。バッテリーはご使用により徐々に劣化していきます(サイクル劣化)。満充電時の駆動時間が初期性能のおよそ50%付近まで低下した場合、バッテリーは寿命を迎えていますので、PCカスタマーセンターへ交換を依頼してください。【☞3 別冊 使用上の注意・サポートガイド】も必ずお読みください。

バッテリー寿命目安を確認する方法
1. ACアダプター接続時に充電ランプを確認し、赤色もしくはは緑色点滅(1秒周期)する場合は寿命の目安です。
2. 設定→「バッテリー」→「バッテリーの状態」を確認し、「劣化」の表示が出ている場合は寿命の目安です。

■補修用性能部品の保有期間について

補修用性能部品の保有期間	製造打切り後3年間
--------------	-----------

補修用性能部品の保有期間をもって、製品の修理対応は終了となります。(補修用性能部品とは、製品の機能・性能を維持するために必要な部品で、すべての部品ではありません。)

■無線LANおよびBluetoothワイヤレステクノロジーについて

2.4GHz帯無線LAN / Bluetoothワイヤレステクノロジー
この機器の使用周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を有する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)、ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

①この機器を使用する前に近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。

②万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止したうえで、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための措置等(例えばパーティションの設置など)についてご相談ください。

③その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きた場合は、下記連絡先にお問い合わせください。

2.4 DS/OF 4
(2.4GHz帯無線LAN)この機器が、2.4GHz周波数帯を使用するDSSS変調方式/OFDM変調方式の無線装置で、干渉距離が40mであることを示しています。
*使用できるチャンネル(ch)は、1ch~13chです。

2.4 FH 4
(Bluetoothワイヤレステクノロジー)この機器が、2.4GHz周波数帯を使用するFHSS変調方式の無線装置で、干渉距離が40mであることを示しています。
*送信出力はPower Class 1で通信範囲は見通し距離約10mです。

5GHz帯無線LAN (ご利用になる場合は対応する無線LAN親機をご用意ください。)
この機器は5GHz帯無線LANを内蔵しており、使用できるチャンネル(ch)は以下です。

IEEE802.11a/n/ac	W52:36ch, 40ch, 44ch, 48ch W53:52ch, 56ch, 60ch, 64ch W56:100ch, 104ch, 108ch, 112ch, 116ch, 120ch, 124ch, 128ch, 132ch, 136ch, 140ch
------------------	---

*W52とW53は、電波法によりご利用が屋内に限定されています。

無線LANはネットワークセキュリティキーを利用するなどのセキュリティ設定をおこなったうえで使用してください。セキュリティ設定をしていない場合、第三者に通信内容を盗み見られたり、不正にネットワークへ侵入されたりするおそれがあります。

■電波法および電気通信事業法について

本機は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等に関する規則を順守しており、その証として「技術マーク」が本機の設定画面内に表示されております。次の手順でご確認いただけます。
アプリ画面→「設定」アイコン→「タブレット情報」→「法的情報」→「認証」
本機内部の改造をおこなった場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に改造をおこなわないようにお願いいたします。

■瞬時電圧低下について

この装置は、社団法人電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格を満たしております。しかし、本規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。なお、内蔵バッテリーの充電残量が不十分な場合は本規格の耐力を満たさないのをご注意ください。

■電磁妨害ノイズや静電気などへの耐性基準について

この装置はCISPR35(マルチメディア機器の電磁両立性 一イムニシティ要求事項)に適合品です。

■高調波電流規制について

JIS C 61000-3-2 適合品
この装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

■電波障害自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。 VCCI-B

©2021-2023 ODS Corporation

・製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更する場合があります。
・本書を含む各種マニュアルの内容は、予告なく変更する場合があります。
・本書で使っている画像等はそれぞれの表示イメージです。製品と異なる場合があります。
・本書を含む各種マニュアルの内容について、万が一ご不審な点や誤り等がありましたら、PCカスタマーセンターへご連絡ください。なお、本製品の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、各種マニュアルの記載内容にかかわらず当社はその責を負いません。
・本製品に内蔵のソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティ契約のもとに供給されています。ソフトウェアおよびそのマニュアルは、そのソフトウェアライセンス契約にもとづき、同意書記載の管理責任者のもとでのみ使用許諾されます。
・他社製周辺機器およびソフトウェアについては動作を保証するものではありませんので、各販売元にお確かめのうえご購入ください。
・本書を含む各種マニュアルの無断転載を禁じます。
・(商標について) Google, Googleロゴ, Android, Androidロゴは、Google LLCの商標または登録商標です。microSD, microSDHCは、SD Card Associationの商標または登録商標です。Bluetoothは、Bluetooth SIG, Inc. USAの商標または登録商標です。日本語変換は、オムロンソフトウェア(株)のWnn IMEを使用しています。iWnnIME © OMPRON SOFTWARE Co., Ltd. 2009-2023 All Rights Reserved. その他記載されている会社名、製品名、規格名は各社の商標もしくは登録商標です。本書では®マーク、TMマークを省略しています。

DC1207-02G

2023年4月 5版

オーディーエス株式会社

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-5 東京神田須田町ビル

お問い合わせ先: オーディーエスPCカスタマーセンター

電話サポート窓口 ナビダイヤル 0570-001134

サポートホームページ <https://ods.co.jp/support/pcsupport.html>